

2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年9月28日

上場会社名 株式会社ピクルスコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 2925 URL https://www.pickles.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 雅弘
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理財務部長 (氏名) 三品 徹 TEL 04-2925-7700
 四半期報告書提出予定日 2021年10月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	24,423	0.1	2,232	24.8	2,307	24.5	1,630	26.1
2021年2月期第2四半期	24,398	13.3	1,788	28.6	1,854	25.6	1,293	28.3

（注）包括利益 2022年2月期第2四半期 1,645百万円（25.2%） 2021年2月期第2四半期 1,314百万円（34.6%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	126.85	125.45
2021年2月期第2四半期	101.05	99.83

（注）当社は、2021年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第2四半期	27,238	16,187	58.9
2021年2月期	25,949	14,728	56.4

（参考）自己資本 2022年2月期第2四半期 16,049百万円 2021年2月期 14,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	-	0.00	-	35.00	35.00
2022年2月期	-	0.00	-	-	-
2022年2月期（予想）	-	-	-	17.50	17.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2021年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2021年2月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,500	1.0	2,850	5.1	2,940	3.9	1,900	3.7	147.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2021年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年2月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期2Q	12,859,200株	2021年2月期	12,854,600株
② 期末自己株式数	2022年2月期2Q	770株	2021年2月期	586株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期2Q	12,854,622株	2021年2月期2Q	12,795,456株

(注) 当社は、2021年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により緊急事態宣言が発令されるなど、依然として厳しい状況にあります。今後、ワクチンの接種が促進されることにより、個人消費や企業収益に持ち直しの動きが続くことが期待されるものの、感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がありますなど、今後の見通しは、依然として不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、巣ごもり需要が継続したことにより内食需要は底堅く推移しました。一方、外出については、営業時間の短縮や酒類提供の制限・禁止の要請などにより需要が低迷し、厳しい状況が続いております。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を背景に免疫力向上などに引き続き注目が集まるなど、健康に関する意識は高まっております。このようなライフスタイルの変化に合わせたニーズへの対応とともに、食の安全・安心の確保や、フードロスなどの社会問題への対応も求められております。

このような状況のなか、当社グループは、北海道から九州にかけて全国に展開している製造・販売ネットワークを活用し、積極的な営業活動を行いました。

販売面では、㈱フードレーベルにおいて、「牛角シリーズ商品を買って・食べて・おいしく元気♪プレゼントキャンペーン」と題し、「牛角韓国直送キムチ」や「牛角やみつきになる！丸ごと塩オクラ」などの商品を対象として、宮崎牛や特別栽培米などが当たるキャンペーンを実施しました。

製品開発面では、当社独自の乳酸菌Pne-12（ピーネ12）とフラクトオリゴ糖の力でBMIが高めの方の体脂肪を減らす機能性表示食品「Pne-12+キムチ」や、ご家庭で誰でも手軽にぬか漬を楽しめるぬか漬の素「発酵の魔法 かんたん糠床」、㈱東ハトの暴君ハバネロのウマ辛の味を再現した「暴君ハバネロキムチ」、本格的なボギキムチ「焼肉チャンピオンが本気で作ったキムチ」などの新商品を発売しております。その他、既存商品のリニューアルなどを実施しました。

新規事業については、外食事業及び小売事業を行う「OH!!!～発酵、健康、食の魔法!!!～」(所在地：埼玉県飯能市)を2020年10月に開業しております。OH!!!は、営業時間短縮等の新型コロナウイルス感染症対策を講じ、営業を継続しております。

新型コロナウイルス感染症対策として、出勤前及び出勤時の検温、業務中のマスクの着用、手指消毒、定期的な換気、事務所の休憩室や会議室におけるアクリル板の設置、WEB会議の活用、時差出勤や在宅勤務などを継続して実施しております。

売上高は、外出自粛に伴う巣ごもり需要が継続していることにより、家庭内での食事の機会が増加している状況や家飲みによる消費が続いていることや、健康志向の高まりにより乳酸菌を含む食品としてキムチの需要が継続していることなどにより、製品売上高は増加いたしました。

利益については、天候が比較的順調に推移し、原料価格が安定して推移したことや生産アイテムの集約継続による生産の効率化などにより増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は24,423百万円（前年同四半期比0.1%増）、営業利益は2,232百万円（同24.8%増）、経常利益は2,307百万円（同24.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,630百万円（同26.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,288百万円増加し、27,238百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,450百万円増加した一方、有形固定資産が163百万円減少したことによるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べて170百万円減少し、11,051百万円となりました。これは主に買掛金が332百万円、長期借入金が267百万円それぞれ増加した一方、短期借入金が350百万円、1年内返済予定の長期借入金346百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて1,458百万円増加し、16,187百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益等により利益剰余金が1,405百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の業績予想につきましては、2021年4月13日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,437	5,887
受取手形及び売掛金	5,290	5,259
商品及び製品	244	333
仕掛品	72	74
原材料及び貯蔵品	229	283
その他	90	46
流動資産合計	10,365	11,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,515	5,348
機械装置及び運搬具(純額)	1,758	1,747
土地	6,411	6,411
リース資産(純額)	62	60
建設仮勘定	—	10
その他(純額)	164	170
有形固定資産合計	13,912	13,749
無形固定資産		
のれん	502	453
その他	158	153
無形固定資産合計	661	606
投資その他の資産		
投資有価証券	551	513
繰延税金資産	413	406
その他	135	77
投資損失引当金	△89	—
投資その他の資産合計	1,011	996
固定資産合計	15,584	15,352
資産合計	25,949	27,238

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,462	3,795
短期借入金	1,400	1,050
1年内返済予定の長期借入金	1,143	797
リース債務	7	8
未払法人税等	772	792
賞与引当金	187	185
役員賞与引当金	108	—
その他	1,850	1,856
流動負債合計	8,932	8,486
固定負債		
長期借入金	1,355	1,622
リース債務	25	24
繰延税金負債	3	3
退職給付に係る負債	501	529
負ののれん	96	78
その他	305	306
固定負債合計	2,288	2,564
負債合計	11,221	11,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	763	766
資本剰余金	2,134	2,137
利益剰余金	11,643	13,049
自己株式	△0	△0
株主資本合計	14,542	15,952
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81	96
その他の包括利益累計額合計	81	96
新株予約権	104	137
非支配株主持分	0	0
純資産合計	14,728	16,187
負債純資産合計	25,949	27,238

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
売上高	24,398	24,423
売上原価	17,943	17,367
売上総利益	6,455	7,056
販売費及び一般管理費	4,666	4,823
営業利益	1,788	2,232
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	5
持分法による投資利益	15	25
負ののれん償却額	18	18
受取賃貸料	21	16
事業分量配当金	6	7
その他	15	14
営業外収益合計	82	88
営業外費用		
支払利息	5	3
賃貸費用	11	9
営業外費用合計	16	13
経常利益	1,854	2,307
特別利益		
固定資産売却益	—	0
補助金収入	7	16
受取保険金	—	60
特別利益合計	7	77
特別損失		
固定資産処分損	5	0
特別損失合計	5	0
税金等調整前四半期純利益	1,856	2,385
法人税等	563	754
四半期純利益	1,293	1,630
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,293	1,630

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益	1,293	1,630
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	15
その他の包括利益合計	21	15
四半期包括利益	1,314	1,645
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,314	1,645
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2021年7月27日開催の取締役会決議に基づき、2021年9月1日を効力発生日として株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行いました。

(1) 株式分割の目的

株式分割を行い、投資単位当たりの金額を引き下げることにより、より一層投資しやすい環境を整えることで、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

①分割の方法

2021年8月31日(火曜日)を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式1株につき2株の割合をもって分割いたしました。

②分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	6,429,600株
今回の分割により増加する株式数	6,429,600株
株式分割後の発行済株式総数	12,859,200株
株式分割後の発行可能株式総数	47,184,000株

③分割の日程

基準日	2021年8月31日	(火曜日)
効力発生日	2021年9月1日	(水曜日)

④1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響については、当該箇所に記載しております。

(3) 株式分割に伴う定款の一部変更

①定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2021年9月1日をもって、当社定款第6条の発行可能株式総数を変更するものであります。

②変更の内容

変更の内容は以下のとおりであります。

(下線は変更箇所を示しております。)

現行定款	変更後定款
(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>23,592,000株</u> とする。	(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>47,184,000株</u> とする。

③定款変更の日程

効力発生日	2021年9月1日	(水曜日)
-------	-----------	-------

(4) その他

①資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額に変更はありません。

②新株予約権の行使価額の調整

当社は、新株予約権（株式報酬型ストックオプション）を複数発行しておりますが、行使価額の調整は行わず1株につき1円とし、調整後の付与株式数については、調整前付与株式数に2を乗じた株数とします。